

キンギョソウ  
*Antirrhinum majus*  
 (オオバコ科)

花の形から日本人は金魚、欧米人は龍の口(スナップドラゴン)を思いうかべた。従来からの金魚の尾の形をした普通咲きと、一重のペンステモン(バタフライ)咲きがあり、前者は仏花、後者は洋花としての利用が多い。各節にわき芽がでるが、出荷時に除去されることはない。夏には出荷がなく、10～5月に流通する。

エチレンで落花するので、STS剤の前処理は必須である。また、水に浸かっている茎が腐りやすいので後処理剤を使用する。横に寝かして保管すると花穂が曲がる。

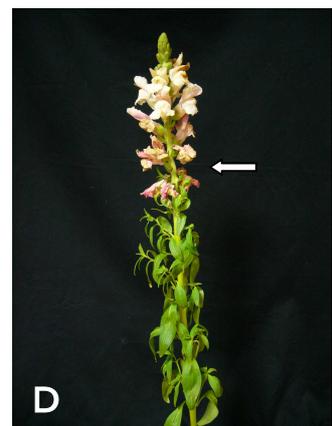
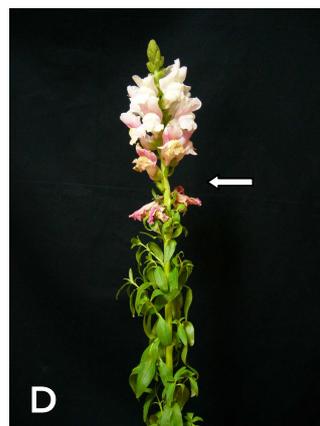
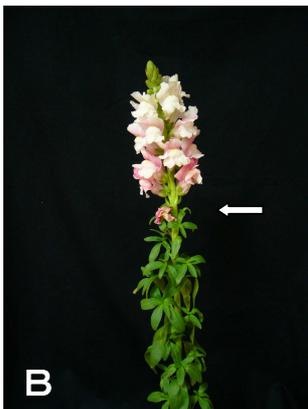
1) 品質評価基準

項目	判定基準	備考
小花の老化	A: 花弁に張りがあり、硬い B: 花弁が張りを失い、やや軟らかくなる C: 萎凋する D: 著しく萎凋、変色し、小花の形状を失う	花穂の老化の判定に用い、日持ち終了判定には用いない。
花穂の老化	A: 老化した小花(C, D)がない B: 花穂下部1～2小花が老化(D) C: 花穂下部の3～4小花が老化(D) D: 花穂下部の5小花以上が老化(D)、または上部の開花中の小花が変色	「小花の老化」項目を参考に、D判定小花数を計測。灰色かび病の発症が見られたらその時点でD判定。
灰色かび病の発症	A, B: 発症が認められない D: 発症	発症した切り花は花びんから取りのぞく。
葉の萎凋	A: 硬く張りがある B: 張りを失い、垂れる C: 張りを失い、垂れるとともに葉先が枯れる	実験開始時に葉先が枯れているのは薬害、生理障害等が考えられる。
その他		

2) 留意点

- ・各節にはわき芽がついたままで流通しているので、調査中に伸びてくるが、除去せず調査を続ける。
- ・STS剤で前処理をしていれば小花は枯死しても落下しない
- ・後処理剤の効果は大きい。

### 3) 開花



#### 4) チェック事項

##### 小花の老化



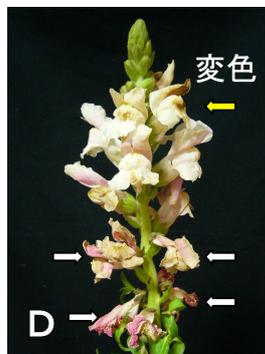
軟化が始まる



萎凋



完全萎凋, 形状喪失



変色



わき芽の伸長

除去しない

##### 灰色かび病の発症



菌の侵入により花穂  
上部が曲がる



花穂の折れ



茎に発症

##### 葉の萎れ



垂れる



葉先枯れ

出荷時にすでに葉先が  
枯れていることがある